

主な重点事業の概要について

- ・ 分科会での審議などを踏まえ、検討している取組（重点事業）の内容について説明し、意見を伺うもの

1 次世代モビリティ産業集積促進事業

基本施策	1 地域産業の創造性・発展性を高める
事業の目的・必要性	産学官の連携が創り出す新しい産業の力が、住みよい暮らしと都市の活性化につながるよう、本市産業の強みである次世代モビリティ産業を基軸とした産業の集積促進を図る。
事業の全体概要	<p>次世代モビリティ産業集積促進戦略の具体的な推進を図るため、産学官による「次世代モビリティ産業集積推進会議」を設置し、推進会議が主体となり、イノベーションや人材育成確保、情報発信などに関わる事業を展開し、モビリティ産業の集積促進を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 イノベーション事業 <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターの配置 ・研究会等・共同研究開発プロジェクトの活動支援 2 人材育成・確保事業 <ul style="list-style-type: none"> ・企業・大学活動見学会の実施 ・栃木県経営者協会等によるインターンシップ事業の活用 3 情報発信(収集)事業 <ul style="list-style-type: none"> ・次世代モビリティ産業関連の企業情報リストの整備 ・講演会やフォーラムの実施 ・見本市・展示会出展の支援
スケジュール	<p>18年度 次世代モビリティ産業集積推進会議の発足</p> <p>19年度～ 研究会等・共同研究開発プロジェクトの推進</p> <p>3つのグループ（イノベーション、人材育成、情報発信）の形成・活動の推進</p>

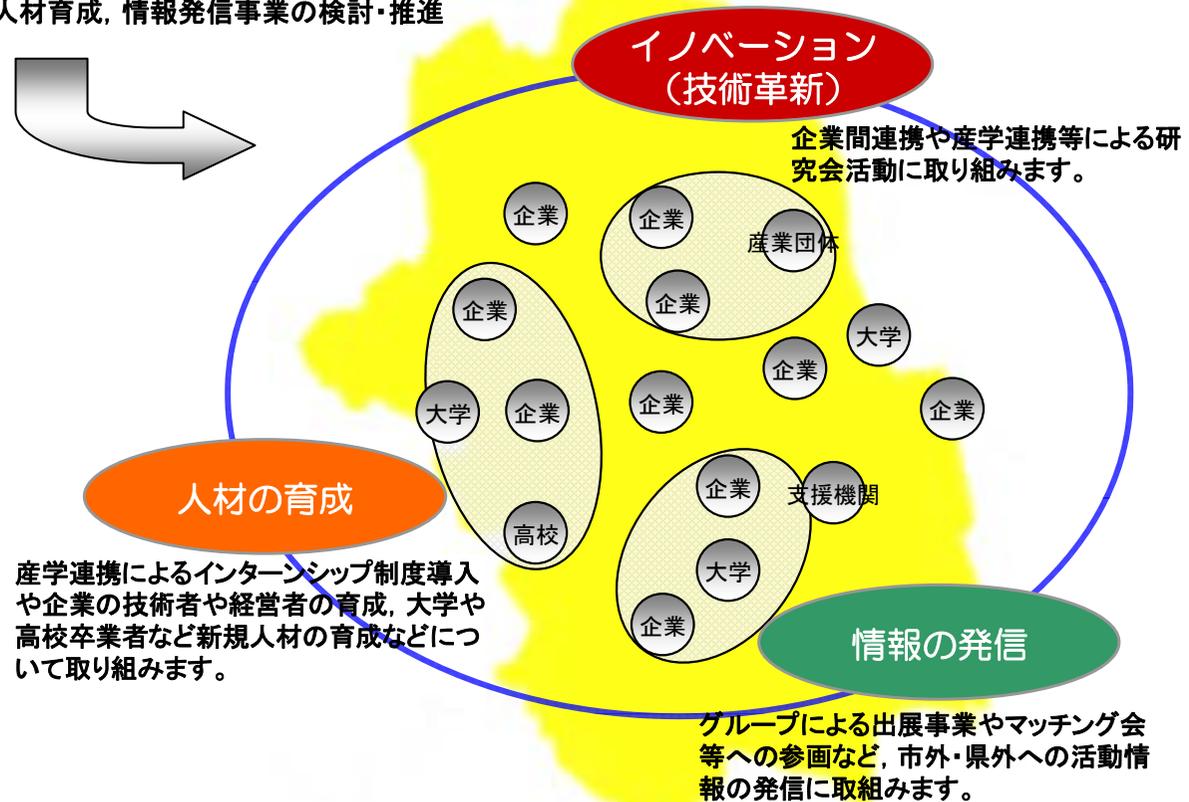
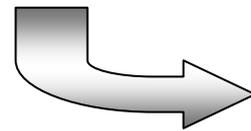
指標・目標値

指標・目標値	H19年度	H24年度
研究会等・共同研究開発プロジェクト累計数	1件	15件

事業イメージ

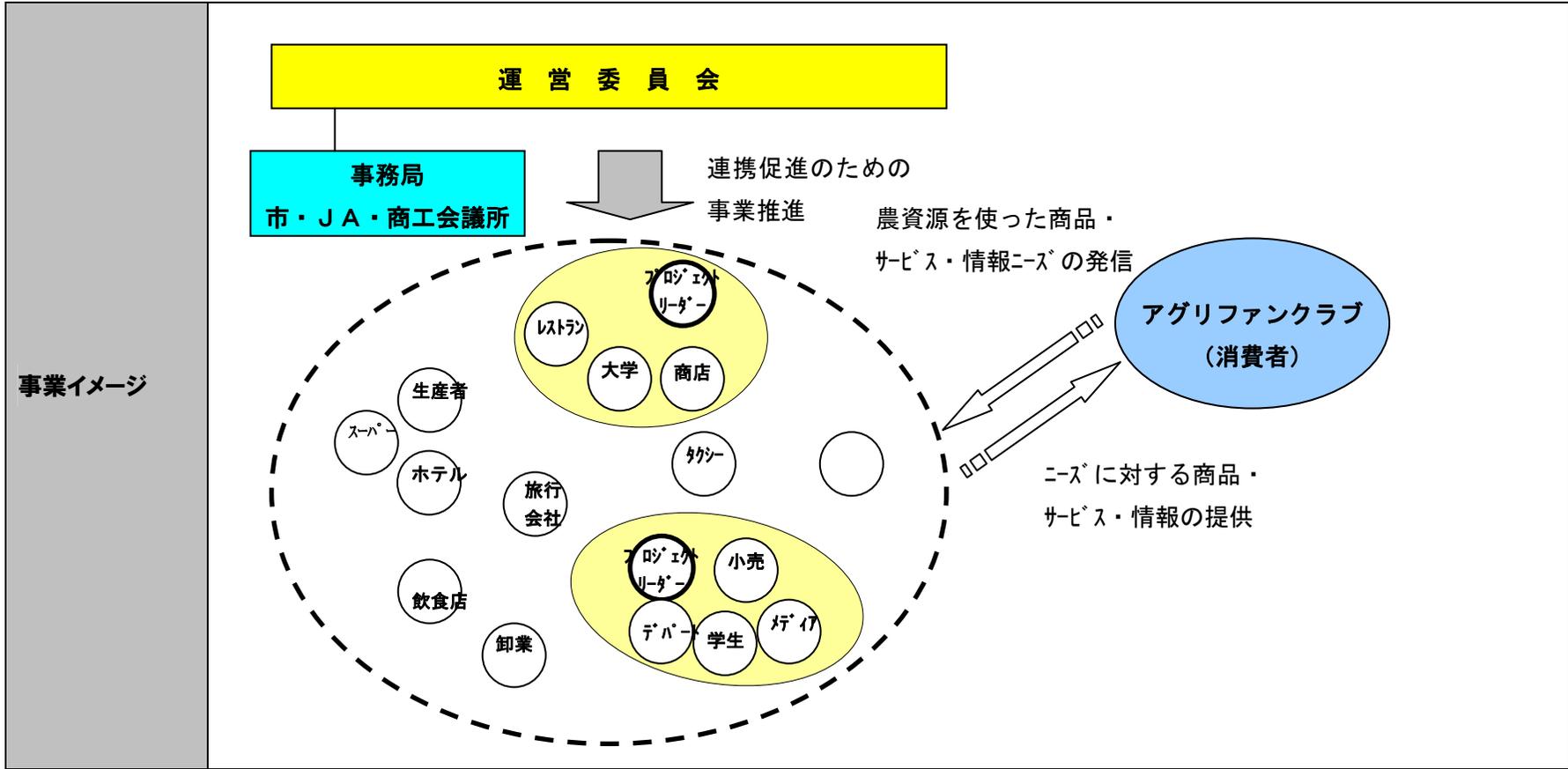
次世代モビリティ産業集積推進会議

イノベーション, 人材育成, 情報発信事業の検討・推進



2 アグリネットワーク推進事業

基本施策	1 地域産業の創造性・発展性を高める								
事業の目的・必要性	本市農産物の需要拡大と産業の振興を図るため、農業と他産業との新たな連携を促進することにより、地域の農産物、人材、技術その他の資源を有効に結びつけ、新たな商品、販路、地域ブランド等を創出する。								
事業の全体概要	<p>宇都宮の農産物、人材、技術その他の資源を有効に結びつけ、新たな商品、販路、地域ブランド等を創出することを目的に、様々な事業を検討実施する「うつのみやアグリネットワーク」の事業推進を図る。</p> <p>1 「うつのみやアグリネットワーク」の組織構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会 <ul style="list-style-type: none"> 役割：ネットワークの運営に関する事項の協議 メンバー：宇都宮市、宇都宮農協、宇都宮商工会議所、農業・食品加工・流通・販売・飲食・ホテル旅館・その他関係事業者、学識経験者 ・会 員 <ul style="list-style-type: none"> 対象：農資源を活用した新製品・新サービスの創出に向けた意欲を持つ事業者、団体、個人など <p>2 「うつのみやアグリネットワーク」が行う事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ネットワーク推進機能の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・会員交流会の開催 ・プロジェクトフォローアップ事業の検討 <ul style="list-style-type: none"> 商品発表会や商談会の開催、アグリファンクラブ会員へのモニター調査実施 運営委員会による研究会の開催（ネットワークの戦略構築） ○アグリビジネス創出促進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・農資源を活用した新商品・新サービスの創出に向けた調査研究・試作品制作費などに対する助成 ○プロジェクト推進事業の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・関係・専門機関との連携 ・プロジェクトアドバイス業務委託 								
スケジュール	<p>18年度 うつのみやアグリネットワーク発足</p> <p>19年度～ アグリビジネス創出促進事業の推進</p> <p style="padding-left: 20px;">会員交流会の開催</p> <p style="padding-left: 20px;">農資源の情報共有Web運用</p> <p>20年度～ アグリファンクラブとの連携事業の実施</p>								
指標・目標値	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">指標・目標値</th> <th style="width: 20%;">H19年度</th> <th style="width: 20%;">H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同研究開発プロジェクト数</td> <td>9件/年</td> <td>10件/年</td> </tr> </tbody> </table>			指標・目標値	H19年度	H24年度	共同研究開発プロジェクト数	9件/年	10件/年
指標・目標値	H19年度	H24年度							
共同研究開発プロジェクト数	9件/年	10件/年							



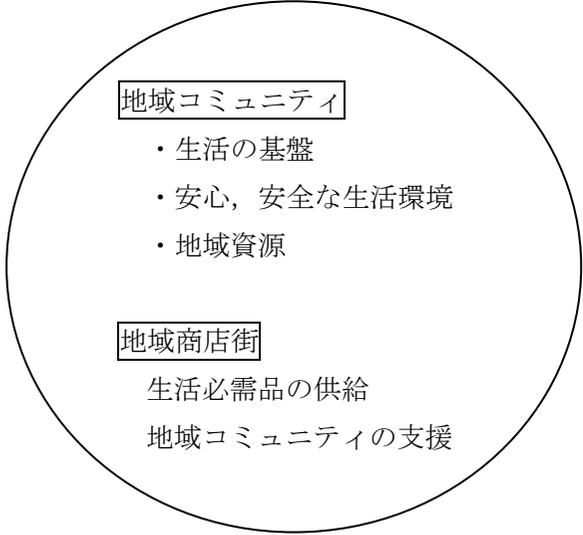
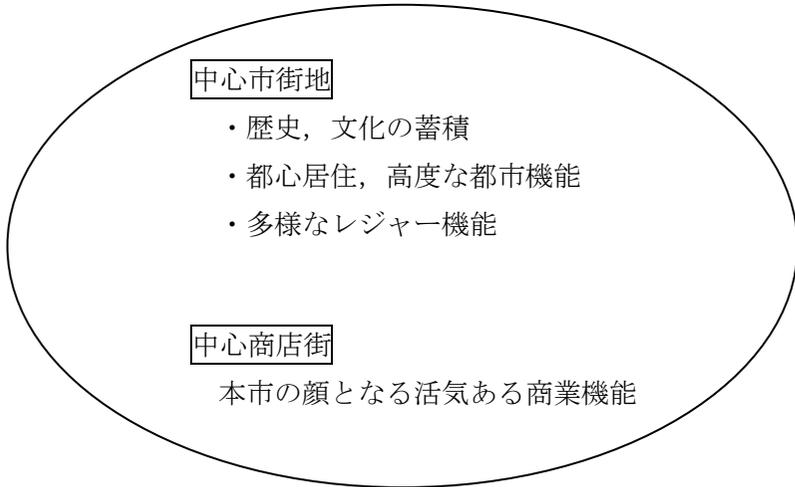
3 商店街活性化事業の促進

基本施策	2 商工業の活力を高める
事業の目的・必要性	商店街の魅力を高めるための事業の実施を支援することにより、商店街の活性化を図る。
事業の全体概要	中心商店街と地域商店街，それぞれの役割を踏まえた上で，商店街全体の魅力向上だけでなく，個店の営業力・販売力等の強化もあわせて行う包括的な支援を行う。 <ul style="list-style-type: none">・ 中心商店街，地域商店街の役割に応じた支援・ 地域生活者の生活利便性を維持する観点からの地域商店街支援・ 地域拠点内の地域商店街の機能維持・ 中心商店街の魅力の向上
スケジュール	平成20年度 既存支援制度についての検証及び新たな支援制度の検討 平成21年度 新たな支援制度の実施
指標・目標値	・ 休日の中心商店街の通行量 129,609人（平成19年）⇒143,000人（平成24年）

事業イメージ

市, 関係機関等

支援



4 生産力の向上(農業担い手の育成/土地基盤の整備)

基本施策	3 農林業の付加価値を高める
事業の目的・必要性	<p>◆農業担い手の育成</p> <p>農業従事者の減少や高齢化が進展する中、本市農業の持続的な発展を図るため、認定農業者など中核的な地域農業の担い手を育成する。</p> <p>◆土地基盤の整備</p> <p>農産物の輸入自由化や産地間競争に対応できる生産性の高い土地利用型農業を確立するため大規模圃場を整備するとともに、効率的で安定的な農業経営を目指す地域農業の中核となる担い手への農地の集積を図る。また、農業用水の安定確保と合理的利用を図るとともに排水条件の改善を図ることを目的とする。</p>
事業の全体概要	<p>◆農業担い手の育成</p> <p>(1) 経営規模拡大に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市農業公社による農地の売買のあっせんや、利用権の設定 ・農地取得のための農業制度資金（農業近代化資金）に対する利子補給 <p>(2) 経営の効率化に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンバインなどの大型機械導入に対する補助 ・パイプハウスなどの施設整備に対する補助 ・農機具購入のための農業制度資金（農業近代化資金、農業経営基盤強化資金）に対する利子補給 <p>(3) 経営知識の強化に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業経営者や後継者を対象とする、経営改善に係る研修会・相談会の開催 ・海外の農業先進地を訪問する視察研修の実施 <p>(4) 集落営農組織の形成に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落営農モデル地区（鶉内集落ほか）をはじめとする、地域の合意形成に向けた指導・助言 <p>◆土地基盤の整備</p> <p>(1) 圃場整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体計画面積 8,354ha 整備済面積（H18年度末） 7,236ha 整備率 86.6% <p>(2) 農道整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総延長 497,718m 舗装済延長（H18年度末） 328,479m 整備率 66.0%

<p>スケジュール</p>	<p>◆農業担い手の育成</p> <p>【随時支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用権設定などの農地流動化の推進 ・ 農業制度資金に対する利子補給 ・ 大型農業機械導入・園芸施設整備に対する補助 ・ 集落営農組織に関する指導・助言 <p>【定期的支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営改善研修会・相談会の開催（年1回予定） ・ 海外派遣研修の実施（年1回予定） <p>◆土地基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 圃場整備事業（毎年度5地区程度実施予定） ・ 農道整備事業（毎年度 9, 500m程度整備予定）
<p>指標・目標値</p>	<p>◆農業担い手の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認定農業者数 現状値：683人（H19.4.1） ⇒ 目標値：730人（H24年度末） <p>◆土地基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 圃場整備事業（整備済面積） 現状値：7,236ha（H18年度末） ⇒ 目標値：7,656ha（H24年度末） ・ 農道整備事業（整備済面積） 現状値：328,479m（H18年度末） ⇒ 目標値：386,454m（H24年度末）

5 体験型・参加型観光の促進

基本施策	4 魅力ある観光と交流を創出する
事業の目的・必要性	本市の地場産品や伝統工芸の創作体験，産業観光など，来訪者に多様な交流機会を提供するため，体験型・参加型観光を促進する。
事業の全体概要	<p>来訪者が滞留することにより，市民との交流の機会が増加し，本市観光に対する相互理解が図られる。</p> <p>① まちかど観光体験館の整備 ⇒ 来訪者の体験事業を実施しようとする者に対し，工事，備品購入，装飾費等の一部を補助</p> <p>② ろまんちっく村，篠井農産加工所等の活用促進 ⇒ 農業体験，農産加工体験等の交流メニューの充実</p> <p>③ 産業観光の促進 ⇒ 工業団地等の工場見学との連携</p> <p>④ ふるさと宇都宮の伝統文化の継承 ⇒ 伝統文化の体験と発表の場の創出</p>
スケジュール	平成20年度～ まちかど観光体験館整備事業補助金の交付 篠井農産加工所管理運営補助金の交付 伝統文化フェスティバルの開催
指標・目標値	年間入込客数 現状値（H18現在） 13,202.7千人 ⇒ 目標値（H24）15,000千人

「魅力ある観光と交流を創出する」

「しげん」

「こころ」

観光資源の活用促進 「都市観光の推進」

従来型観光(観る・買う)

名所・旧跡めぐり
産品購買
イベント見学
等

体験型・参加型観光

ものづくり体験
農業体験
農産加工体験
伝統行事参加 等

交流・滞在機会の創出

連携

おもてなしの
向上
「おもてなし
体制の充実」

事業イメージ